

第44回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

- 1 開催日時 平成28年2月26日(金)18時30分から19時15分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 17人(欠席者9人)
出席委員 小林義明(会長)、嶋田一夫(副会長)、石坂卓也、佐々木善信、鈴木和夫、
武谷宏二、田中一枝、田畑洋、埜義和、牧野隆男、増田雅則、安方二朗、
井上稔(副会長)、齊藤忠慶、荻原正樹、深沢典允、清水富美夫
- 4 出席者
事務局 土方 明、今村好一、岩崎 誠、大堀和彦
エコサービスふじみ株式会社 望月 博
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 5 傍聴者 0人
- 6 次第
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - (1) 第42回・第43回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について
 - (2) 施設の運転結果について
 - ① ごみ搬入・灰等搬出(平成27年4月～平成27年12月)について
 - ② 平成27年度の環境測定結果(平成27年4月～平成27年12月)について
 - (3) 安全衛生専門委員会について
 - (4) 第3回ふじみまつり報告について
 - (5) 平成28年1月施設見学報告について
 - (6) 平成28年度ごみ処理相互支援について
 - 3 協議事項
 - (1) 平成28年度 地元協議会スケジュール(案)について
 - (2) 第4回ふじみまつりにについて
 - 4 その他
 - (1) 次回日程
 - (2) その他
- 4 閉会

【配布資料】

- 【資料1-1】第42回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)
- 【資料1-2】第43回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)
- 【資料2-1】ごみ搬入・灰等搬出結果(平成27年4月～平成27年12月)
- 【資料2-2】平成27年度の環境測定結果(平成27年4月～平成27年12月)
- 【資料3】安全衛生専門委員会資料
- 【資料4】第3回ふじみまつり報告
- 【資料5】平成28年度1月施設見学報告
- 【資料6】平成28年度ごみ処理相互支援について
- 【資料7】平成28年度 地元協議会スケジュール(案)
- 【当日配付資料1】新川防災公園・多機能複合施設(仮称)整備事業について
- 【当日配付資料2】クリーンプラザふじみ1階ロビーの資料コーナーについて

- 事務局 : 1 会長が、所用で遅れるため、会長到着まで a 副会長の司会で進行する旨報告
- 2 資料確認
- 3 1階ロビーに書棚に、各自治会との協定書等及びクリーンプラザふじみに関する資料を自由に閲覧できるよう整備したことを報（当日配付資料2説明）
- a 副会長 : それでは、会長がお見えになるまで臨時で進行をいたします。
- ただいまの出席は、地域の委員の方11名、行政は5名で16名出席になっています。成立していますので、早速議事に入らせていただきます。
- 最初に報告事項1番目の、議事録についてであります。事前に配付をいたしていますのでご確認いただいていると思いますが、訂正その他、ご意見がございましたらお伺いいたします。
- よろしいですか。ありがとうございます。
- それでは、議事録の確認をいたしまして、事務局から公開の手続を進めていただくようにいたします。
- 報告事項2番目の、施設の運転結果について、事務局から報告をいただきたいと思っております。
- I 委員 : それでは、2報告事項(2)施設の運転結果について、①ごみ搬入・灰等搬出実績、②環境測定結果の報告をさせていただきます。資料は2-1並びに2-2です。
- まず資料2-1をごらんいただきたいと思っております。4月から12月までの可燃ごみの搬入実績でございます。
- 4月から12月までで、三鷹市が2万1,749トン、調布市が約2万5,316トン、リサイクルセンターからの残渣が5,618トン。それから、相互支援によります武蔵野市のごみが594トンとなっております。
- 昨年実績と比較いたしますと、三鷹市は528トン減っております。一方、調布市につきましては21トン増えております。また残渣につきましては519トン減っている状況でございます。
- 特徴的には、調布市の事業系のごみが増えているという傾向がございます。これは調布市内の各事業所に、ふじみ衛生組合に事業系ごみが持ち込めることが大分浸透してきたのではないかと考えているところでございます。
- 残渣につきまして減っている理由でございますが、平成26年度につきましてはリサイクルセンターのプラスチック手選別ラインの工事を行ってございました関係で、その期間、プラスチックについてはリサイクルをする

ことができませんでした。27年度につきましてはリサイクルセンターが順調に動いておりますので、その分、残渣が減っていると状況でございます。

続きまして搬出実績及び電気量でございます。

搬出実績につきましては、焼却灰が4,123トン、飛灰が1,283トン、鉄分が144トンとなっております。

焼却量4万8,363トンでございますが、焼却量が昨年と比べますと2,868トン減っております。それにより、焼却に伴って発生した焼却灰等についても減っております。焼却灰が前年度比367トンの減、飛灰が前年度比38トンの減、鉄分については前年度比17トンの減となっております。

続きまして、リサイクルセンターのごみ処理実績でございます。

三鷹市の搬入実績でございますが、4月から12月までの間、7,010トンとなっております。前年度7,078トンに比べ、約70トンの減となっております。粗大ごみ、不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、びん・缶と、ほぼ前年どおりの搬入となっております。

続きまして調布市でございます。この間、6,709トンでございます。前年が6,780トンですので、不燃ごみにつきましては調布市も減っているという状況でございます。こちら粗大ごみ、不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、びん・缶、ほぼ前年どおりの搬入となっております。両市の合計については市の下段をごらんいただきたいと思います。

続きまして、資源物の搬出実績でございます。

特徴的なところを申し上げますと、まずペットボトルでございますが、平成26年度につきましては、ペットボトルを圧縮梱包したものが383トン、ペットボトルのまま圧縮梱包せずに出したものが117トンございましたが、平成27年度につきましては全量456トンを全て圧縮梱包して搬出しております。

これは、平成27年3月に、ペットボトルの圧縮梱包機的能力をアップしたためでございます。従前の4トンから7.5トンに能力をアップしたということで、27年度は全量が圧縮梱包した形で搬出ができております。

もう1つ特徴的なものとしましては、右から3つ目、容リ・プラスチックでございます。こちらが281トンほど増えております。これは先ほど申し上げましたとおり、26年度中には手選別のラインの更新工事を行った、27年度は工事がなかったということで、281トンほど増えたものでございます。

続きまして、資源物搬出の下段でございます。資料の一番右側、焼却、熱回収欄ですが、クリーンプラザふじみに持ち込んだ残渣が519トンほど減っているということで、これは上の段の容リ・プラスチックの資源物搬出量が増加した影響でございます。

続きまして資料2-2をごらんいただきたいと思います。環境測定結果でございます。

まず上の段、1号炉、2号炉の稼働の実績でございます。黒が運転計画

で、赤が実績でございます。1号炉につきましては、ほぼ計画どおりでございます。12月1日に火をとめまして定期点検を行いまして、12月28日に点火いたしました。

一方、2号炉のほうは若干計画と違ってございまして、計画では11月24日まで運転する予定でございましたが、ごみが減っていることから11月19日で焼却炉を一度とめております。そして定期点検を行いまして、当初は1月6日から運転を再開する予定でございましたが、こちら1日おくらせて1月7日から運転を再開したところでございます。

それでは、環境測定の結果について報告させていただきます。

まず、排ガスの測定でございます。前回の地元協議会以降、測定結果が出たものにつきまして網かけがしてございます。

まず10月の2号炉、そして11月の1号炉に網かけがしてございます。ダイオキシンにつきましては11月の1号炉、2号炉に網かけがしてございます。

煤塵でございますが、10月の2号炉、11月の1号炉とも0.001未満ということでございまして、自主規制値又は基準値を下回っております。

続きまして硫黄酸化物でございますが、11月は0.7未満ということで非常に小さな数字が出ております。10月については2.2ppmということでございまして、こちら自主規制値又は基準値を下回っております。

続きまして窒素酸化物でございますが、10月の2号炉が32ppm、11月の1号炉が39ppmということで、こちら自主規制値又は基準値の50ppmを下回っております。

続きまして塩化水素でございます。10月の2号炉が1.2ppm、11月の1号炉が0.4ppmで、こちら自主規制値又は基準値の10ppmを下回っております。

続きましてダイオキシン類でございます。これは11月に1号炉、2号炉とも測定しております。1号炉につきましては0.の後にゼロが6つの後71という数字でございます。2号炉につきましては0.の後ゼロが3つ、その後28ということでございまして、どちらも自主規制値又は基準値の0.1ナノグラムを下回っております。

続きまして水銀でございますが、10月の2号炉、11月の1号炉とも0.004未満でございまして、基準値を下回っております。

一酸化炭素につきましては、10月の2号炉が5ppm、11月の1号炉が6ppmということで、こちら自主規制値又は基準値の100ppmを下回っております。

続きまして排ガス中の鉛、カドミウム、亜鉛でございますが、全ての項目におきまして0.004未満でございまして、こちら自主規制値又は基準値を下回っております。

続きまして、騒音、振動、臭気、排水の測定の欄でございますが、こちらにつきましては12月に予定しておりました排水の測定につきまして1月に変更したということで、今回、ご報告の事項はございません。

続きまして周辺大気の測定でございますが、こちら冬期の測定が1月のた

め、データ分析中でありまだ測定結果が出ておりませんので、報告事項はございません。

続きまして放射能に関する測定でございます。まず焼却灰、飛灰、排ガス、排水につきまして、9月から12月までの4か月間の測定結果が出ております。

まず焼却灰でございますが、一番小さな数字が11月の15ベクレル、一番大きな数字が9月の21ベクレルでございます。地元協議会でお約束しております自主規制値又は基準値の4,000ベクレルを下回っております。

続きまして飛灰でございますが、一番小さな値では11月の133ベクレル、一番大きな値では10月の159ベクレルということで、これも自主規制値又は基準値の4,000ベクレル以下となっております。

続きまして排ガスでございますが、9月の1号炉、2号炉、10月の2号炉、11月の1号炉、2号炉、12月の1号炉とも不検出でございます。

排水につきましても、9月から12月まで全て不検出となっております。

続きまして空間放射線量率の測定でございます。今回は10月、11月、12月、1月の4か月分の測定結果が出ております。一番小さな値では0.05マイクロシーベルト、一番大きな値では0.09マイクロシーベルトということで、周辺の公共施設と同等の値となっており、特に問題はないと考えているところでございます。

次のページには、それをグラフにしたものを掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

会長 : ただいまの説明で何か質問はございませんでしょうか。
その前に、おくれて済みませんでした。大変失礼いたしました。
よろしいですか。ありがとうございます。
それでは、安全衛生専門委員会について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 : それでは資料3でございます。
資料3にはA4用紙二枚つづりのものと、A3用紙のものがございます。
A4用紙の「特集」と括弧書きで左上に書いてあるのが、安全衛生専門委員会の杏林大学教授の角田先生が、杏林大学病院の中の『杏林医学会』という機関紙に投稿されたものでございます。『杏林医学会』というのは、医学、保健学、看護学及び関連分野の進歩・向上を図り、会員相互の知識の交流を目的とした組織ということで、杏林大学の医学部の中で発行されているものだそうでございます。

これは、杏林大学の地域交流事業の一例ということで紹介されたものでございます。初めのところに書かれておりますように、大学と地域との協力・連携の事例として、安全衛生専門委員会の現在までの活動の概要等をまとめられたものでございます。

内容は、ふじみ衛生組合について、今までの経過を紹介するとともに、安全衛生専門委員会の経過も含めた内容となっております。処理施設緊急

時及び要望等対応マニュアルが作成されたところまでが書かれた内容になっております。これも後ほどごらんいただければと思います。

次にA3のカラー刷りの資料でございます。これは慶応大学病院の岩澤先生の資料でございます。昨年11月5日に日本公衆衛生学会で、ふじみ衛生組合での取り組みとして、住民とふじみ衛生組合のリスクコミュニケーションということで発表されたものでございます。

日本公衆衛生学会とは、大学の公衆衛生にかかわる研究者だけでなく、保健所の先生方、保健師さん、行政、公衆衛生にかかわる者が参加する組織だそうでございます。

内容につきましては、緊急時対応マニュアルの作成ということで、処理施設緊急時及び要望等対応マニュアルの作成の経過を発表されたものでございます。

考察2は、リスクコミュニケーションとして行政と住民の方の話し合いの場であったということ強調して書かれたそうでございます。また、継続的な地域とのコミュニケーションとして、インターネットホームページ上に経時的な環境測定の結果を出していること、見学者を非常に多く受け入れていること、地元協議会の開催などについて報告されたものでございます。内容につきましても、後ほどごらんいただければと思っております。

会長 : ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたように、専門委員会の角田委員と岩澤委員が所属される団体でマニュアルの紹介をされたということでございます。もうお目通しいただいているかもしれませんが、まだ読んでいない方は後ほどお目通しいただければと思います。

質問ですか。どうぞ、J委員。

J委員 : この資料はいただきまして読みましたが、水銀の問題で、過去何回か事故があったわけですが、今その事故がないという、先ほど報告がありました。何をして何が効いたから現在に至っているというふうに総括されているのか、それが現在のこの報告に結びついているのか、その辺をはっきり、もう一度おっしゃっていただけますか。

事務局 : 今、J委員が質問された内容につきましては、これはあくまでも専門委員会の中で、水銀等も含めた、また緊急時の対応マニュアルの作成過程を、経過を踏まえた中で報告をされたということですので、個別の水銀問題について報告したものではありません。

b 副会長 : では私から申し上げます。この間、事故は起きておりませんが、理由はいまだにはっきりしていません。結論としては、事故原因ははっきりいたしません。したがって、何が功を奏しているかも明確にこうだということ言い切ることは現段階では難しいと思っております。

ただ、搬入するごみの検査をずっと定期的に続けてきて、そういった中では一切出てきていないです。ですから、そういったものが一つ抑止力として効いているだろうと考えています。これは想像の域を出ませんが。今

後の対策として、つい最近、教育施設、学校や幼稚園でのアンケートも行いまして、対象施設では。水銀体温計等を結構持っていらっしやいました。不要時の廃棄等については、今も個別に協議をしながら、ふじみ衛生組合や両市で受けたりしております。水銀条約の締結ということで、政府が2月2日に閣議決定をいたしまして、その後国連のへ受諾書を提出しています。23カ国目の締約国になったというふうに話を伺っておりますが、国内法の施行が恐らく年内ぐらい、水銀条約が効力を発揮しますと国内法もそれに伴って施行されることになっております。今後、話がいろいろ出てくる、大気汚染防止法も改正されておまして、一般廃棄物処理施設は恐らく対象になってくるのだらうと思っております。そのときに、私どもは自主規制値として0.05を定めております。国としても今、急ピッチで、専門家を交えた検討会等で、水銀の排出基準値について議論が行われております。国レベルで対策をとっていきますので、その中では、これまで個別にやっていた医師会との協力ですとか、そういったことが非常にやりやすくなっていくかと思っておりますので、これについては三鷹市、調布市と連携をとりながら、収集の段階から個別に分別して収集できるような仕組みが、市がやるかどうかは別として、いろいろな関係機関を交えての話し合いが持ちやすくなったと感じているところです。

ですから、抜本的な対策については、今後1年間ぐらいかけてやっていく必要があるかなと思っております。

J 委員 : 今、b副会長のほうからきちっと答えていただいたので、了解は、私自身はしました。つまり、過去にそういうことがあって、起きたことは起きたこととして、それに対してどういうふうに手だてをとって、今後とも緊張感を持ってこの施設が運営されることを、我々近隣住民としては切に要望するわけです。

大学の先生がどのような発表をしようが、これは発表のための発表だと私は思っていますので、そんなことを申し上げたのではなくて、過去にそういうことがあったこの衛生組合において、どういう手だてをとったかはもちろん報告を聞いていますからわかっています。それが効いたのかどうかということの評価をどのような形でしているのかなということを確認したかったということです。

今後とも緊張感を持って運営に間違いのないようにしていただきたいということで、ちょっと確認の意味で質問しました。

会長 : 皆さん、よろしいでしょうか。

それでは次第2の(4)第3回ふじみまつり報告について、お願いいたします。

F 委員 : 第3回ふじみまつりについてご報告をさせていただきます。資料4をごらんいただきたいと思います。

第3回ふじみまつりにつきましては、昨年11月21日、日曜日に開催をさせていただきますまして、天候にも恵まれまして、滞りなく済ませさせていただいたところでございます。

まつりの実施に当たりましては、資料4の1番に記載のとおりでございますが、6回にわたりまして事前に実行委員会を含め打ち合わせ会を行いまして、皆様のご協力で準備に万全を期したところでございます。委員の皆様は資料4の2番のとおりでございます。

同じく3番の広報活動でございますが、これは広報ふじみをはじめ、両組織市の広報も含めて努めたところでございます。

特に、3番の一番下の三調日より、それから次ページのカラーのポスターあるいはチラシで、個別に配付するものと、地域の町会さんにご協力いただきまして掲示をしていただいたところで、この辺が非常に集客のための効果があらわれていたのかなと思っているところでございます。

資料4の6番の参加者でございます。来場者の総数につきましては2,034人でございます。昨年が1,596人ございましたので、おおむね500人程度増えて、参加者の増がありました。これは、ふじみまつりの認知も上がったことと、あわせまして、同日に三鷹市民駅伝も開催されましたので、相乗効果という形で2,000人を超える多くのお客様にご来場いただきまして、私どもの施設を見ていただけたと思っているところでございます。当日のブースやいろいろなイベントにつきましては、6番のところに記載のとおりでございます。

資料4の7番、協力団体でございます。こちらに記載のとおり、多くの団体の皆様にご協力をいただきましてまつりを開催させていただいたと思っております。改めて御礼を申し上げたいと思っております。

最後になりますが、売り上げにつきましては、ポップコーン等々についてこういった売り上げがございました。あわせまして7番の協力でありました栄晃産業さんと調布清掃さんのほうでいろいろ食事の提供もしていただきましたが、その収益金につきましても、社会福祉協議会を中心に寄附をさせていただいたところで、そういった福祉関係にも貢献できたまつりではないかなと思っているところでございます。

以上が報告でございます。

会長 : ありがとうございます。

何か質問はございませんでしょうか。どうぞ。

E委員 : 私も参加させていただきまして、非常に理解できてよかったなど。友達も連れて参加したのですが、この中で、参加者数の中に、私が一番よかったのは、施設の見学をしたんです。説明員が非常にわかりやすく説明していただいて、私の友達もすごく感激しまして。ただ、ここを見ますと、施設の見学というのは、ここに載っているんですか。

もし載っていないのであれば、今後、施設の方があれだけ一生懸命やっただいて、大変地味な内容ですが、非常にこの施設を一番理解していただく上で大切な仕事ではないかなと思いますので、載っていないようであれば、ぜひ、次回には載せていただけるようにしていただければいいのではないかなと。これは提案でございます。

F 委員 : ありがとうございます。人数の把握等々もございましたので、こういう記載にさせていただきました。今おっしゃったフリーに来ていただけたということでございますので、そういったところもやった内容ということで、数は載せなくても項目を載せるような形でご報告させていただきたいと思っております。

会長 : ほかに何かございませんでしょうか。よろしいですか。
どうぞ、B 委員。

B 委員 : ふじみまつりももう 3 回目ですよね。年々発展の一途ということになっておりますが、このふじみまつりのブースなども、それぞれいっぱいみたいな感じで、この地域も今度、ふじみの三鷹通りを挟んで向こう側に第一部上場の家具屋さんもいらしたりとか、年々変わってきますので、またいろいろな地域とのかかわり合いを、ぜひ、ふじみ衛生組合は持っていただきたい。

そういった場合に、現在のブースというのは限界に来ているような面もあるのではないかなと、私はただ 3 階で囲碁を打っているだけなのですが、そういうぐあいに、新しい試みとか、そういうことを少し考えていくような形にしないといけないのではないかなと。

今度はマラソン大会と一緒にやってやったということも新しい 3 回目の企画だったと思うのですが、そういうことも含めたりすると、ますます込み入ってくるのではないかなと思うので、さらに先の見通しなどもぜひ実行委員会等で話していただいて、進んでいただきたいなと思っております。

以上です。

会長 : ありがとうございます。ぜひとも B 委員にも実行委員に入っていただきたく、よろしくお願ひしたいと思ひます。

J 委員 : これは、ふじみまつりも 3 回目なので、報告もすごく淡々と書かれたような感じがして。さっきご質問があった、要望というか提案がありましたよね。非常にいいことだと思ひんです。そういう目線で見ているということですよ。

私も実行委員の 1 人なのですが、3 回やって、やはり少し気持ちの上ではマンネリというか、なれてしまったというところがあって、1 回目の緊張感はもう、ちょっと忘れたかなという感じもあるんです。1 回目のときはとにかくがむしゃらに動いていましたから。

それで、せつかくの報告書ですから、実行委員の人はこれはわかっているんです、どんな状態だったか。ここの地元協議会に、初めてこの報告書を見る方にももう少し様子がわかるように、端的なこういう羅列ではなくて、せつかくアンケートもとったわけですし、多分、広報の方が写真も何枚か撮られていると思うんです。そのニュース性をここに出す意味で、そうしたらこの報告書がもうちょっとあったかくなるんじゃないかなと思ひんです。

ですから、これ、報告書を出すまでは、本当は実行委員会あたりも絡み

ながら、事務局だけではなくて絡みながら、ニュースとして出しておしまいと。それで、この地元協議会に報告して、次の引き継ぎみたいなことをやると、記録も記憶もしっかり残るんじゃないかなと思いますので、その辺はまた、次の集まりのときにまた含めて、僕自身も提案したいし、検討していきたいなと思います。今ちょっとご提案いただいたことをあわせて、そういうふうに感じました。

会長 : ありがとうございます。J委員もまた実行委員、やる気満々ですね。また第4回もよろしくお願いします。

D委員、どうぞ。

D委員 : ただいまのJ委員のご提案は非常にいいと思います。もう1つ、つけ加えていただきたいのが、これは予算の関係もあると思うのですが、せっかくこれだけ盛り上がってきたのだから、写真なども添えていただいて、全体像の写真とか、あるいは個別に何か印象に残った写真とか、これは予算の関係がありますので、言いたいことを申し上げて失礼だとは思いますが、そういうふうになると、さらに盛り上がるんじゃないかなと思いますので、紙質も少しよくして、写真をつけ加えていただければ、ますますこの認識、三鷹市民、調布市民、あるいはそれ以外の都市の方もいらっしゃる可能性も秘めていますので、ご提案したいと思います。

以上です。

会長 : ありがとうございます。

皆さんからいただいた意見によりまして、報告書もまた変えていきたいと思っております。よろしくお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、平成28年1月施設見学報告について、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料5をごらんください。

まず1ページ目からでございますが、平成28年1月19日に、容リ・プラスチックの資源化施設であるジャパン・リサイクル株式会社を訪問し、見学をしてまいったものでございます。

3番目に参加者の内訳が記載してございます。合計では19名の方が参加をしていただいたということでございます。交通機関、日程等は記載のとおりでございます。

次の2ページ、3ページ目には、ジャパン・リサイクル株式会社の施設概要をここに載せたものでございます。3ページの中段に(3)として、見学時の質疑応答6問を記載したものでございます。

まず1点目が、ガスの精製で酸洗浄等はどうのようにされているのかという質問に対して、高温反応炉から発生したガスは急速冷却塔で1,200℃から70℃まで急冷され、その後、急速冷却塔での洗浄水（ガス中の塩化水素を回収した処理水）を用いて酸洗浄を行っているという回答でございました。

2点目が、全国で稼働しているサーモセレクト方式の施設は何施設です

かということで、6施設が稼働しているということでございます。その内訳が一覧表でまとめたものでございます。

次に4ページをご覧ください。そこに3点目の、施設としての収益はどうでしょうかということで、収入と支出が同程度ですという回答でございました。

4点目が、サーモセレクト方式の施設を行政が運営するとしたらどうでしょうかという問いについては、全国の施設数からして理解をいただけたと思いますという回答でございました。

5点目が、スラグの活用はどのようなのですかという問いに対して、サーモセレクト式ガス改質炉にて生成したスラグは、骨材、一例としてインターロッキングブロック、歩道に使用しているブロックに利用しているということでした。

6点目が、精製したガスは有価でJFE製鉄所に提供しているのですかという問いに対して、有価ですと。毎年、JFE製鉄所と協議をして価格を決定しておりますということでした。

施設の処理の状況が、2007年度から2014年度まで一応記載をしております。これはジャパン・リサイクルのホームページから情報を公開されておりますので活用させていただいたものでございます。

最後に5ページ目に、見学の写真等を3点ほど載せたものでございます。左上が容リ・プラスチックのストックヤード、ふじみ衛生組合のリサイクルセンターから梱包されたものがこのストックヤードに積み上げられている状況でございます。右の上段にサーモセレクトの、一応、建屋内部で撮った写真でございます。最後に、ジャパン・リサイクル株式会社の前の玄関で記念撮影、集合写真を撮らせていただきました。

これが報告でございます。以上です。

会長 : ありがとうございます。

何かご質問はございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは次に進ませていただきます。平成28年度ごみ処理相互支援について、事務局より説明をお願いします。

事務局 : それでは資料6をごらんいただきたいと思います。これは例年、4月の前にお伝えしております、武蔵野市の焼却施設定期整備工事にかかわる搬入のお知らせでございます。

おもて面には、第1回可燃ごみの搬入についてのお知らせということで、例年記載しているとおりの内容をここに書いてございます。

今回、第1回目が4月18日、月曜日から、4月25日、月曜日までの期間でございます。合計で約200トンの搬入がされます。搬入経路、退場経路等につきましては昨年と同様でございます。

今度は裏面をごらんください。28年度の相互支援の予定でございます。

今、第1回目が表紙のほうでご説明しましたので、第2回目が平成28年8月1日、月曜日から、8月8日、月曜日の間に、搬入量が200トン。3

回目が12月1日、木曜日から、12月8日の木曜日の間で200トン。合計で600トンということになってございます。

それから、次の黒丸のふじみ衛生組合から武蔵野市への搬送は年2回で、5月9日、月曜日から5月20日の間でございます。第2回目が6月2日から6月14日の期間でございます。ふじみから武蔵野に行くのは総量で300トンずつでございますので、合計で600トンのごみがこちらから武蔵野市に搬送されるという計画になっております。

以上でございます。

会長 : 何か質問はありますか。

よろしいですか。それでは続きまして協議事項、平成28年度地元協議会スケジュール（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 : 続きまして資料7をごらんいただきたいと思います。この地元協議会の平成28年度計画を表の左側の列記載しております。

まず、基本的には年4回の地元協議会を計画しております。3か月に1回のインターバルで計画をしてございます。

大きく変わりましたのが、地元協議会施設見学会というのを、今年度は2月に実施をしましたが、今年も気候に左右されるような状況もございましたので、できれば安定している月のほうがよいのではないかとということで、当初の計画に戻させていただきまして、6月に地元協議会の施設見学会を入れたということでございます。

会長 : この地元協議会スケジュール（案）、いかがでしょうか。ご質問等ございませんでしょうか。こうしたほうがいいんじゃないのという話もいただけたら。

よろしいですか。ありがとうございます。

それでは続きまして、第4回ふじみまつりについて、お願いします。

F委員 : 第4回ふじみまつりのご提案でございます。

まず第4回のふじみまつりの実施と日程についてでございますが、この前の実行委員会のほうでもいろいろ検討させていただいて、11月20日日曜日に、第4回ふじみまつりの開催を、提案をさせていただきたいと思っております。

会長 : 11月20日、第4回ふじみまつり実施ということでございます。

実行委員をやってみたい方はいますか。いないかな。

会長 : それでは、その他、次回日程。事務局からお願いします。

事務局 : 次回の日程でございますが、4月21日に安全衛生専門委員会がございまして、その次の週の4月26日、火曜日、または4月28日、木曜日を考えておりますがいかがでしょうか。

会長 : 4月26日、火曜日、都合が悪い方。――みんな大丈夫ですか。

4月28日、木曜日はどうでしょう。――どっちも何とも言えない。どっちがよろしいですか。

じゃあ、4月26日、火曜日、午後6時半から、同じこの場所でというこ

とでお願いしたいと思います。

ではその他、事務局、何かございましたら。お願いします。

I 委員 : まず1点目でございます。本日、机上配付いたしました新川防災公園・多機能複合施設（仮称）整備事業についてでございます。

三鷹市の新川防災公園・多機能複合施設（仮称）につきましては、平成28年度末竣工の予定でございます。現在、工事が行われているところでございますが、平成27年12月から、工事中の電力ということでふじみ衛生組合のほうから電力の供給を開始いたしましたことをまずご報告させていただきます。

そして、この整備事業の内容につきましては、内側を見ていただきますと、公園ですとか庁舎ですとかスポーツ施設という内容になっております。このスポーツ施設につきましては、三鷹市民のみならず、調布市の皆様等にもお使いいただけるということで、今現在、3月に行われます三鷹市の定例会におきまして、設置条例や使用料の関係の審議をいただくことになっております。

調布市の市民の皆様の利用につきましては、ふじみ衛生組合から電力を供給していることもありますので、個人使用につきましては三鷹市民と同額で利用できるという情報をいただきましたので、報告をさせていただきます。

それから2点目でございますが、毎回、委員の改選がありますと懇親会を実施しております。このたびも、昨年11月に委員の交代がありましたし、恐らくこの4月にはふじみ衛生組合の人事異動に伴いまして、組合職員のほうも人事異動がございます。そのようなこともございますので、4月の地元協議会開催後に懇親会を開催するかどうか、皆様のご意見を伺いたいと思っております。

会長 : どうぞ。

B 委員 : 懇親会は例年やっているからやるということもありますが、私は今年度はそういうことを抜きにして、ぜひやってもらいたいと思っている。というのは、こうやって二月に1回ぐらいずつみんな集まっていますが、もう本当に、私は10年間ぐらいここにいるのですが、懐かしい顔がまた4月になりますと、がらっと変わるんです。私、うわさでは、三鷹ではかなりの異動があるのではないかということを知っておりますので、もう会えない方もいらっしゃるのでは、ぜひ、三鷹だけじゃないですよ、調布もいらっしゃるのでは、こうやって何げなく会って過ごしておりますが、懐かしい話をぜひしたいなと思っておりますので、今年度はぜひやってください。よろしくお願いします。

会長 : 4月26日ということでよろしいんですかね。懇親会をやるということで、よろしいですね。ありがとうございます。

会長 : どうぞ。

E 委員 : 私、委員になりまして、何ができるのかなと。個人で。たまたま私は井

の頭公園に、毎朝6時半のNHKラジオ体操に出ているんですよ。ほとんど毎日。そこでたまたま、公園の掃除をやっている人がいまして、その方と一緒に、公園をずっと毎日回っていて、あと自宅に帰ると、せっかくですから自宅までのごみ処理をずっとやってきたんです。その中で気がついた点をちょっと。

井の頭公園の場合、職員というか清掃する係の方がおられるので、ほとんど問題ないのですが、私の場合はボランティアというので、たばこのポイ捨てを中心にしてやって、大体1日、毎日100本ぐらいいは公園の中で落ちているんです。周辺をやるともっと、多いときは200本以上とかなのですが、そこはいいとして、要は、周辺の道路、それから私は下連雀の8丁目にいるのですが、6丁目、8丁目は私の地域なので、そこに5つの通りがあるのですが、月曜日はこの通りとか、毎日だーっと今やっていて、それで気がついた点で、たばこの場合、ポイ捨てがとやかくではないのですが、要するに捨てる場所によって、ほとんどが消さないで捨てているんです。すると、拾っていると、火がついたままのやつで、場所によってはやけどするとか、中には枯れ草のところに捨てるとか、結構多いんです。ですから火事になる危険性があるのかなというのが1つ。

それから、ほとんど私も今まで同じような人間だったので、拾う人がまずほとんどいない。最近、うちの近くに駐車場が結構出ているんです。ほとんど家を建てないで駐車場になって、そこが一つ問題で、そののところにたばこを捨てるのは大量に捨てているのですが、問題なのは自宅のものを捨てているのも結構多いんです。特に時間で決めているところ。それは誰が拾って、誰がやるのかなというの。まだやっていないのですが、そのオーナーに電話して、たまには拾いに来いと。それを、要するに地域で誰もやらないわけです。それから、あそこの中でたばこも、車の吸い殻をどばっと捨てるのもいるんです。一遍に何十本とばっと捨てる人もいます。それもそのまま放置されているわけです。今は私が全部拾っているんです。とりあえずは。そういう問題が今あると思います。

要は、そういうものは誰がやればいいのか。公共、行政のほうでやるのか、それとも地域の町内会とか、みんなで話し合っ、じゃあ自分の通りに駐車場があつたらその地域の人たちがやるのか、それとも駐車場だつたらそのオーナーが来てやるのか、それとも我々が、ボランティアみたいなのが自主的にやるのか。その辺が、やり始めて、どうなのかなという感じで。

特に、まだやっていないのですが、一番関心があつたのは東八道路、あそこは多分、500本から1,000本ぐらいい落ちていると思います。あそこはまだ意識的にやっていないんです。だーっとやっていたら、植木があるところ、多いところは1つに50本以上あるんです。それがだーっとありますから。だから、その辺のやつ、要するに、ごみのこういうことも大事なのですが、日常の生活の中で、結構身近な問題が放置されていて、特に公共の通りとかについては、個人は自分のところのごみは拾うのですが、た

ばこはそのまま放置なんです。俺のところの敷地じゃない、関係ないというのが、そういう感じなんです。

K 委員 : 今の話、いろいろな話があるので、ごみ対策課に来ていただいて、お話ししていただければ、ごみ対策課でいろいろ知恵がありますので。基本的に駐車場とかああいう土地の場合は所有者の責任なので、ごみ対策課のほうでも所有者に対して、きれいにしてくださいねというお願いをしています。いろいろなボランティアさんにやっていただいている町会さんもいます。様々なやり方がありますので、もしボランティアでされていけばボランティア袋というのがあって、無料で差し上げていますので、それを使えば回収できますし、市民の方の善意というのは尊重して、行政と一緒にやっていければいいなと思っています。

E 委員 : はい。まあ、私は行政にどうのこうのじゃなくて、たまたまやってみたら、私が今まで気がつかないのが、随分いろいろなそういうのが身近な中にあるんだなと。

それで、しばらくは続けてやっていこうと。今、とりあえず4人でやっているんです。仲間が4人で、賛同者がいまして。ですから、これから少しずつつふやして行って、少しでもやっていきたいなと思うので、ちょうどいい機会だったので。わかりました。ごみ対策課に行けばいいんですね。了解しました。

会長 : J 委員。どうぞ。

J 委員 : 私は懇親会の話じゃないんですけれども。E 委員が今お話しした件に絡んで、その他のその他の話ですけど。

せっかく、ふじみ衛生組合を拠点にして、調布・三鷹の市民が一堂に会して行政と話し合う場の1つが、このふじみの地元協議会だと思うんです。

私は調布側のほうですが、調布の端っこじゃなくて、ここは調布と三鷹の中心街だというふうに、私はずっと前からそう思っていて、ここがせっかく中心ならば、両市にまたがっている中心ならば、その意義を具現化していく必要があるだろうと。それが、1つは行政から提案のあったふじみまつりもそういう意味で走ったわけでしょうけれど。

ただ、市民レベルで、せっかく近所にいて、今度ニトリさんがあそこに来て、また交通問題も含めて生活安全環境というのはまた変わってくるだろうし、既にオーケストアでも渋滞は起きているわけですから。

そういう意味で、生活安全、生活環境という意味からいけば、決してふじみの地元協議会も無縁ではないのだろうと思うんです。やはり安全に暮らすということは、全て環境にも絡んでくる話だし、それから市民生活そのものが安全じゃなければならん、なるべく安全志向でいかなければいけないわけですから、そのためには行政だけではなくて住民側のほうの協力する、いわゆる協働の精神が生まれてこないとだめだと思うんです。

僕らは今、ふじみ地区自治会連合会ということで、幾つかの自治会が集まって、調布のほうはボランティア活動、まちづくりというようなことで

もやっています。ぜひ、今、田端さんからそういうお話がありましたので、近隣ですから、ここを土俵にして、あるいはこれの結果を踏まえた上で、もう少し親近感を持って仲よくでき、それで両市にまたがるような諸問題について協力してやっていくというような、市民側のチームプレーもできていいんじゃないかなと思うんです。

だから、そういう活動をするのであれば、我々調布側のほうも、じゃあどういうふうな形でテーマを選んでいったらいいのか、またそこに行政はどう絡んでもらいたいのかというようなことを、何か市民レベルで提案して、逆に言えば行政を引っ張り出すような流れにしていけば、またさらに、さっきの偉い先生方がまたどこかで発表してくれるんじゃないかなと思うので、今、そのようなお話があったので、日ごろちょっと感じていることを申し上げました。

会長 : ありがとうございます。偉い先生の発表はまあいいのですが、例えば、この地元協議会の最後に、時間が許せばそういう、今、E委員がおっしゃったようなことも何かしらあったら言っていただければという気がいたします。

事務局、よろしいですね。ありがとうございます。そういう時間もつくりまます。

D委員、どうぞ。

D委員 : 先ほど、その他で、この新川防災公園の非常に詳しい資料をいただいたのですが、これはちょっと私も不十分かもしれませんが、市の広報ではあまりこういう詳細な資料を見たことがないんです。

それで、これは市のほうでも、むしろふじみ衛生が先導しているような格好でしょうけれど、市のほうでももっと知らしめてやらないと、私はこれは回覧板にしたら非常にいいと思うんです。特にまた調布の関係と一緒に絡まって、調布の方々も自由にできるという内容ですから、そこら辺を市のほうでもご検討いただけないかなと思ってご提案しました。

会長 : ありがとうございます。

K委員、何か今答えられますか。

K委員 : いや、特にはないです。

会長 : 三鷹市民も、調布の施設も調布市民と同額で使いたいですね。

はい、どうぞ。

D委員 : 防災公園の資料をいただきまして、省エネルギーのことについて書いてありまして、先ほどありましたように電力とか、それから熱エネルギーも恐らく使われるのだと思うのですが、現時点でわかる範囲で結構ですが、ふじみの持っている焼却炉の総エネルギー、そのどのぐらいがここに使われるのかということと、それからもう1つ、その費用関係がどういう計算になっているのか、あるいはなっていないのか、その辺も、計画段階だとは思いますが、差し支えない範囲で教えていただきたいと思います。

I委員 : まず電力でございますが、今現在はまだ工事ですので、あまり使用して

おりません。

将来的には、お聞きしているのは大体1,000キロワットほど欲しいと言われております。クリーンプラザふじみでは、1炉稼働ですと大体2,500から3,000キロワットぐらい発電していきまして、2炉稼働ですと6,000から7,000キロワット発電していきまして、ただ、全て送れるわけではなくて、私どもの施設がまず最優先で使わせていただくということですので、1炉稼働ですと、ふじみで使って防災公園に送るとほぼ使い切りに近いような状態になるのかなとは考えております。2炉稼働ですと余剰電力がありますので、売電にも回せるのかなと思っています。

それからお金の話ですが、今現在は工専用ということですので、民間のPPS、特定規模電気事業者に売っている値段で買っていただいております。将来、公共施設として使うということになった場合については、今現在まだ金額は決まっております。

熱エネルギーにつきましては、防災公園の計画のほうが後から出てきたということもありまして、例えば高温水ですとか高圧の蒸気といったものを送るような仕様にはなっておりません。あくまでも発電した後の、低温低圧の蒸気を使いまして温水を供給するという計画でございまして、具体的な数字で申し上げますと40度の温水を1時間当たり60トン供給しようと考えてございまして、熱量に換算いたしますと5ギガジュールになります。

ただ、40度の温水というのは使い勝手が悪いということでございまして温水そのものを使っているのではなくて、温水の中に入っております熱エネルギーを先方の熱交換器でとっていただいで、温水そのものは循環させるという予定でございまして。

以上でございます。

会長 : よろしいですか、D委員。

ほかに何かありましたら。どうぞ。

H委員 : それでは、リサイクルセンターの更新について、1件報告をさせていただきます。

28年度予算において、リサイクルセンター更新に係る検討委託料という内容の予算を計上させていただきました。リサイクルセンターにつきましては、20年が経過する中でさまざまな課題が出てきているということもありますので、そういった現状や課題をまず整理させていただき、整備をするに当たっては、整備の手法やスケジュールなどをその検討の中でしていきたいと思っています。

すぐにどうということではありませぬので、しっかり、じっくり時間をかけて検討していきながら、どういう手法で更新をかけていくのかということを進めていきたいと思っています。

また、検討につきましては、三鷹・調布両市とも連携をしていきますし、この地元協議会において、適宜ご報告をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

報告は以上です。

会長 : まだ何も決まっていないという。わかりました。
これで終わりなのかな。何かありますか。よろしいですか。
もう2月26日ということで、今年度で退任という方もおられますよね。
ご挨拶をいただければと思います。お願いします。

退任（退職）者挨拶（3人）：個々の挨拶については割愛

K委員、F委員、事務局担当

会長 : 皆様、大変長い間お疲れ様でございました。
それでは、きょうの地元協議会はこれにて閉会とさせていただきます。
大変お疲れ様でございました。ありがとうございました。

—19時15分散会—